

## 事業計画書

事業名	行動の連鎖を生むネットワーク事業
実施場所	沼津市内地区センター
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年 4月 15日 ~ 2021年 3月 15日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

【自分たちのまちを自分たちでつくり、まちを誇りに思う地域社会】を目指し、「行動の連鎖が起きる媒体となる団体(任意団体・NPO・一般社団等)」を、設立するための人材の育成、およびネットワークの構築を行う。

本事業では、未来を見据えた持続可能な団体となるための人材確保・育成等の土壌作りとして、すでに結果を出している他市のNPO等を講師に招いた勉強会(広く呼び掛ける)や、ブレインストーミングを行っていく。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

「行動の連鎖が起きる媒体となる団体」を立ち上げるための準備(人材確保・人材育成等)、およびネットワークの構築を目的とする。

人の想いを育てられる場所、その想いに共感し、応援し、刺激し合う、人づくり・場づくりを行う。

団体を立ち上げるにあたり、関わる人にとっての起動力となるミッションビジョンを時間をかけ、丁寧に創り上げていくことが地域社会で結果を出し、持続可能な団体になっていくために必要不可欠であると考えます。

丁寧に育て、様々な人を巻き込み、巻き込まれ、行動していけるネットワークの構築を行う。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい</p> <p>実施内容：すでに結果を出している他市のNPO等を講師に招いた勉強会(広く呼び掛ける)を年2回(6月・9月を予定)行う。 その他、人材育成、ネットワーク構築のためのブレインストーミングを3か月に1回程度行う。</p> <p>※講師選びから中心メンバーのブレインストーミングで決定していく。</p> <p>実施場所：市内地区センター</p> <p>参加対象：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「沼津に愛着を持ち主体的に活動している」個人および団体</li> <li>・「沼津が好き」「沼津で何かやってみたい」「沼津のために何かしたい」と思っている人</li> <li>・人との繋がりを求めている人</li> <li>・まちづくりに興味がある人</li> </ul> </p> <p>人員配置：事務局・ファシリテーター2名配置</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<p>沼津で主体的に活動する個人や団体を繋ぎ、共に学び合い、その拠点となる団体の設立を目指すことで、わくわくと活動する人のネットワークが構築でき、市民がまちづくりに気軽に参画できる仕組みが作れると考える。</p> <p>様々な人を巻き込み、巻き込まれ、行動していけるネットワークの構築は、人の想いが育てられる場所、その想いに共感し、応援し、刺激し合う、人づくり・場づくりに繋がる。先を見据えた市民主体のまちづくりに大きな効果が期待される。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>次年度以降「行動の連鎖が起きる媒体となる団体(任意団体・NPO・一般社団等)」を、設立に向けた賛同会員数：20名 事業の参加者とのネットワーク構築。</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>アンケート</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。          ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。          公益性：ジャンルに関わらず、「沼津に愛着を持ち、主体的に活動している」または、「何か活動したいと思っている」個人や団体を巻き込み、人が繋がり、学び合うことで次の行動（事業創出）に繋がっていく。人材の確保・育成、ネットワーク化を行うことで持続可能なまちづくりの仕組みをつくることができる。          必要性：          ・沼津で主体的に活動する人を育て、その拠点となる団体の設立を目指すことで、わくわくと活動する人のネットワークが構築でき、市民がまちづくりに気軽に参画できる仕組みが作れると考える。          ・「沼津をよくしたい！」と考える個人または団体の「想い」「妄想」「わくわく」がカタチになりやすい環境ができ、沼津のためのまちづくり活動が今までよりさらに活発に行われるようになる。          ・個人、団体、それぞれの得意分野や、課題（マンパワー不足、経済的問題等）を把握 することで、協力体制や問題解決に繋がる。          「沼津をよくしたい！」と考える個人または団体の「想い」「妄想」「わくわく」がカタチになりやすい環境ができ、沼津のためのまちづくり活動が今までよりさらに活発に行われるようになる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。          沼津では既に、ワクワクとした気持ちで、想いや志をもって主体的に活動する個人や団体が多く存在する。それらが持つ知識やスキル、ノウハウ、実績、人脈は、大きな地域資源であるといえる。          しかし、それぞれが、点と点の活動になってしまっており、得意なところで協力し合い、一緒に行動するというアクションは起こりにくい状態にある。          これらの資源をより気軽に、有効にシェアしあえる環境と媒体ができれば、大きなパワーと実行力のあるネットワークが構築できると考える。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。          沼津市には、「行動の連鎖が起きる媒体となる団体」は存在していないように感じる。          本事業を通じて、次年度以降、行動の連鎖が起きる媒体となる団体が設立され、ネットワークの構築が確立されれば、主体的に活動する個人、団体の可能性が広がるだけでなく、「沼津のためになにかしたい」と思っている小さな可能性の芽を育む入口（受け皿）を作ることができる新しい試みであると考えます。          本年度は、個人や団体の持っている有形および無形資源を上手にシェアしあう方法や、団体がきちんと機能し続けるために必要な勉強会を行う。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。          ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて記載して下さい。          発展性：共に学び合いながら繋がっていく本事業は、行動の連鎖を生み、主体的なまちづくりの活動がより活発化していくことが見込める。「沼津のまちは、みんなで作る・作ることができる」という意識の高まりが期待でき、ともに助け合える関係性も構築できると考える。          継続性：次年度以降は、本事業を経て発足する団体の形態にもよるが、勉強会</p>

	<p>(交流会)は、団体メンバーを講師に参加費収入を得たり、企業協賛や会費収入を得る仕組みを作りながら継続を考えていきたい。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。          ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。  <b>実現性</b>：事業目的と事業内容は合致している。スタートアップの予算から勉強会の回数を2回と決め、それ以外の部分は、自主事業として予算をかけずに行う。足りない部分は参加費で補い、スケジュールにおいても無理なく開催できる回数とし、確実に実現できる事業になるよう決めすぎない枠を作る工夫をした。  <b>妥当性</b>：団体設立に向けた中心メンバーとの調整は済んでおり、そこに向けて学ぶ講師の選択もブレインストーミングにて行っていく。費用に関しては、ほぼ講師料であり、その他大きく予算はかけていないので、とことん学ぶこと、繋がることに特化して、事業効果をあげていきたい。</p>
<p>活動に 対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。          市民主体のまちづくりは、1人で行うことはできない。人は人の想いに共感し、心が動いたことで、行動に繋がると考える。沼津には、想いや志のある沼津愛の強い個人、団体がそれぞれの場所で頑張っている。それらを繋げ、ネットワーク化することで、もっと大きなパワーと、わくわくを生み、楽しんで行動している姿が、巻き込まれたいと思わせる「行動の連鎖」の可能性を生む。この事業でそれらをカタチにしていきたいと考える。          人の想いやチャレンジを応援し、力を合わせて実行しあえる媒体があることで、試行錯誤しながらも自立し、また、より多くの市民を巻き込む入口になれるこの事業が成功することで、「沼津をよくしたい」という気持ちのある人同士が繋がりが、誰もがわくわくとした気持ちでまちづくりを楽しめる土壌ができるのではないかと考えている。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>次年度以降、本事業による準備期間を経て団体設立を予定。</p> <p>団体主要メンバーについては、持続可能な体制を整えるためにあらゆる分野から集めていく。次年度以降も引き続き、ブレインストーミングを積極的に重ね、まちづくりファンドのステップアップ型にチャレンジし、実際の行動を起こしていく。</p>
---